

ウズベク語における欠如を表す形容詞派生接辞-*siz* について

日高晋介

(東京外国語大学大学院／日本学術振興会特別研究員 DC)

1. はじめに

ウズベク語の-*siz* は、形容詞を形成する接辞であり、名詞語幹で表される事物の欠如・不足を表すとされている (Kononov 1960: 149, Bodrogligeti 2003: 375)。ウズベク語には、-*siz* と意味的に対称な-*li* という接辞もあり、名詞語幹で表される事物の所有を表すとされている (Kononov 1960: 147, Bodrogligeti 2003: 372)。従来のウズベク語の研究 (Kononov 1960: 149, Bodrogligeti 2003: 375) では、-*siz* と-*li* の意味的な対照性のみが注目されている。管見の限りでは、このような両者の形態統語的ふるまいの差異に注目した先行研究は存在しない。

本発表では、欠如を表す-*siz* の形態統語的ふるまいを、所有を表す接辞 -*li* と対照しながら記述する。そして、両者の大きな違いとして、-*siz* は前部要素に複数接辞や所有人称接辞を含む名詞語幹・人称代名詞・指示詞をとることができるのに対し、-*li* はこれらの前部要素をとることはできない、ということ指摘する。以上の考察を基に、-*siz* は単なる形容詞派生接辞ではないと結論づける。

2. 先行研究

ここでは、-*li* と-*siz* がとりうる前部要素について、先行研究の記述を整理する。

1.1. -*li* について

先述したように、基本的に-*li* は名詞語幹に付くことで形容詞を派生する¹

(1) <i>bola-li</i>	<i>talant-li</i>
child-PROP	talent-PROP
「子持ちの」	「才能のある」

動名詞 (V-(i)sh) や形動詞 (V-(a)r) の後に-*li* が付き、語彙的に形容詞を派生している場合もある (Kononov 1960: 147-8, Bodrogligeti 2003: 373-4)。さらに、複合語・Possessive Compound による複合名詞・連体修飾語句・数詞／固有名詞が含まれる名詞句が前部要素となりえる。ここでは特に Possessive Compound による複合名詞の場合について説明する。

Possessive Compound によって形成された複合名詞 (N₁ N₂-i/-si) に-*li* が付くと、主要部名詞につく-*i*/-*si* [3SG.POSS]が消える (Kononov 1960: 147)。次の例では、*Hamza Hakimzoda nom-i* 「ハムザ・ハキムゾーダという名前」という Possessive Compound による複合名詞が想定される。

¹ ウズベク語の名詞・形容詞・副詞には形態的な区別がない。つまり-*li*、-*siz* による派生語は名詞・形容詞・副詞になりうる。ウズベク語の品詞分類については稿を改めて議論を行う。

(2) [*Hamza Hakimzoda nom*]-*li* *shifoxona* (Bodrogligeti 2003: 375)

NAME name-PROP hospital
 「ハムザ・ハキムゾーダという名前の病院」

1.2. *-siz*について

以下では、先行研究における*-siz*の形態統語的特徴について述べる。*-li*と同様に、*-siz*の前部要素について述べる。

*-siz*に付加する語は、先行研究に挙がっている用例 (Kononov 1960: 149, Bodrogligeti 2003: 375-6) を参照する限り、名詞に限られている。

(3) *adab-siz* *barg-siz* *maza-siz*
 manner-PRIV leaf-PRIV taste-PRIV
 「無礼な」 「葉のない」 「まずい」

(Bodrogligeti 2003: 375)

*-siz*に付加する要素は、数詞・修飾語を含む句である (Kononov 1960: 149)。Bodrogligeti (2003: 375)では、Possessive Compound 複合名詞句にも付加しようとしている。

(4) *ikki oyoq-siz stol* (Kononov 1960: 149)

two leg-PRIV table
 「二つ脚のない机」

1.3. 問題提起

上述した*-li*と*-siz*の機能と前部要素を表 1 にまとめる。

表 1: *-li* と *-siz* の機能と前部要素

		<i>-li</i>	<i>-siz</i>
機能		形容詞派生	
前部要素	名詞	+	+
	動名詞	+	?
	形動詞	+	?
	Possessive Compound	+	例なし
修飾語を含む句		+	+

左記のように、*-siz*の形態統語的ふるまいは、明らかになっていない点が多い。さらに、先行研究で挙げられていない前部要素 (複数接辞/所有人称接辞を含む名詞語幹、人称代名詞、指示詞、人名) についても調査する必要がある。本発表では、先行研究で挙げられていない前部要素を中心に考察を進める。

さらに Possessive Compound についても考察を行う。なぜならば、*-li*と*-siz*で、Possessive Compound について異なるふるまいを見せたためである。

3. 調査・考察

Google 検索とエリシテーションによる調査を行った。Google 検索を用いて抽出した例文末尾には URL を付した。いずれの例も最終閲覧日は 2014 年 1 月 11 日 (土) である。

以下に複数接辞/所有人称接辞を含む名詞語幹、人称代名詞、指示詞、人名、の順に例を挙げる。

- (5) *Ayrim-lar mashina-lar-siz hayot-i-ni tasavvur et-a ol-ma-y-di.*
some-PL car-PL-PRIV life-3SG.POSS-ACC image do-CVB take-NEG-NPST-3SG
「ある人は車無しの生活を想像することができない。」

([http://muloqot.uz/blogs/50995/46151/-](http://muloqot.uz/blogs/50995/46151/))

- (6) *Bola-m-siz hayotim-ni tasavvur qil-a ol-ma-y-man.*
child-1SG.POSS-PRIV life-1SG.POSS-ACC imagine do-CVB take-NEG-NPST-1SG
「私は自分の子供なしの生活を想像することができない。」

(インフォーマントによる作例²)

- (7) *Men-siz yasha-y ol-di-ng=mi, xayhot, Yasha-b ket-di-ng men-siz*
1SG-PRIV live-CVB take-PAST-2SG=Q ah live-CVB leave-PAST-2SG 1SG-PRIV

ayol-im!

lady-1SG.POSS

「あなたは私なしで生きたのか、ああ、あなたは生きてきた、私無しで、私の女！」

(<http://www.odnoklassniki.ru/group/51857201823966/topics?st.gpage=14>)

- (8) *Hayot-im-ni bu-siz tasavvur qil-ol-ma-y-man.*
life-1.SG.POSS-ACC this-PRIV imagine do-POT-NEG-NPST-1SG
「私は自分の生活をこれなしで考えられない。」

(http://www.bbc.co.uk/uzbek/lotin/2013/10/131028_latin_mamadali_mahmudov_oy_nuri_part1.shtml)

- (9) *Orzu-lar-i-ning ba'zi-lar-i endi Alisher-siz amal-ga*
hope-PL-3SG.POSS-GEN some-PL-3SG.POSS now NAME-PRIV action-DAT

osh-a-di,

exceed-NPST-3SG

「希望のいくつかは今アリシエルなしで実行される」

(<http://www.amerikaovozi.com/content/a-36-2007-11-03-voa1-93346299/796403.html>)

(5)の *mashina-lar-siz* 「車無しの生活」を「車ありの生活」とするためには *mashina-lar-li* [car-PL-PROP] とすることはできないとインフォーマント³から情報を得た。さらに、「車ありの生活」としたい場合は後置詞 *bilan* [with] を用いて次のようにする必要があるとの指摘も得た。

² この例は Google 検索で見つけることができなかった。そのため、まず *bola-m-siz* [child-1SG.POSS-PRIV] 「私の子供なし (の / で)」という語が許容されるかどうかを尋ねた。それが許容されたため、*bola-m-siz* を使って作例をしていただいた。

³ 男性、1984 年生、タシケント出身、東京外国語大学大学院博士後期課程在籍。

(10) *Ayrim-lar mashina-lar bilan hayot-i-ni tasavvur et-a ol-a-di.*
 some-PL car-PL with life-3SG.POSS-ACC image do-CVB take-NPST-3SG
 「ある人は車ありの生活を想像することができる。」

同様に、前部要素が所有人称接辞を含む名詞語幹、人称代名詞、指示詞、人名の場合でも *-li* への置き換えはできず、後置詞 *bilan* [with] を用いた置き換えしかできない。

次に Possessive Compound の場合について考察する。*-li* の場合、主要部名詞につく *-i/-si* [3SG.POSS] が消える (2) を参照されたい)。*-siz* の場合はどうなるであろうか。

まず Possessive Compound 名詞句 (11) の *-i* [3SG.POSS] なしで *-siz* を接続させた作例 (12) をインフォーマントに見せた。

<p>(11) <i>Deraza tavaqa-lar-i</i> window shutter-PL-3SG.POSS 「雨戸」</p>	<p>(12) *<i>Deraza tavaqa-lar-siz uy</i> window shutter-PL-PRIV house 「雨戸なしの家」</p>
--	--

しかし、*-i* なしの作例(12)は許容されず、*-i* が必要であるとの指摘を得た。

(13) *Deraza tavaqa-lar-i-siz uy*
 window shutter-PL-3SG.POSS-PRIV house
 「雨戸なしの家」

インターネットで用例を探すと、(12)と同じような用例が見られる。

(14) *Zamonaviy qurilish-lar-ni [quril-ish mashina-lar-i]-siz tasavvur qil-ib*
 modern building-PL-ACC build-VN machine-PL-3SG.POSS-PRIV imagine do-CVB

bo'l-ma-y-di.
 become-NEG-NPST-3SG
 「現代の建物を建築機械なしでは想像できない。」

(<http://muloqot.uz/blogs/44852/9095/ko-tarish-krani>)

4. 結論

3 節における考察を以下の表 2 にまとめる。後置詞 *bilan* の特徴も付す。特に以下の二点に注目されたい。① 複数接辞や人称接辞の後に接続可能という点、人称代名詞・指示詞・人名にも接続可能であるという点、② *-siz* は *-li* よりも後置詞 *bilan* に形態統語的ふるまいが類似しているという点、である。

表 2: *-li*, *-siz*, *bilan* の意味・機能と前部要素

		<i>-li</i>	<i>-siz</i>	<i>bilan</i>	
意味・機能		形容詞派生		~と共に	
前部要素	名詞	名詞語根	+	+	+
		複数接辞の後	-	+	+
		人称接辞の後	-	+	+
	人称代名詞		-	+	+
	指示詞		-	+	+
	人名		-	+	+
	Possessive Compound	<i>-i/-si</i>	-	+	+

次に、ウズベク語の名詞形態法を以下に挙げる。

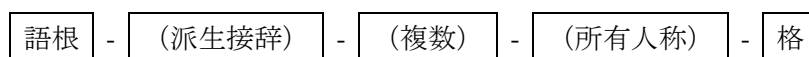


図 1: ウズベク語名詞形態法

-siz が形容詞派生接辞であるならば、複数接辞や所有人称接辞の後には *-siz* が現れないと考えられる。しかし、実際には現れている ((5)~(6)を参照されたい)。さらに、*-siz* が複数接辞や所有人称接辞の後に現れるとすれば、*-siz* は格接辞であるとも考えられる。しかし、*-siz* の直後に格接辞が接続する例があるため、格接辞であるとは考えられない。

(15) *biroq u er-dan uy-siz-ni xayda-b chiqar-ish-gan-ø*.⁴

but that place-ABL house-PRIV-ACC drive-CVB go.out-RECP-PRF-3PL

「しかし、(彼らは) その場からホームレス (lit. 家が無い人) を追い出した。」

(<http://uzlider.net/yangiliklar/news.php?bestmaster=2013/11/15/maneater/>)

以上のことから、*-siz* は通常の派生接辞と異なる特徴を持つといえる。通常の派生接辞であると考えられる *-li* は前部要素に複数接辞や所有人称接辞をとることはできない (3 節の (10)を参照されたい)。Vinokrova(2005)では、非典型的な特徴を持つ派生接辞を「統語的派生接辞 syntactic derivation」と呼んでいる。以下に Vinokrova(2005)の用語を用いて考察を行っている江畑(2011: 122)を引用する。

サハ語の派生接辞には、屈折接辞に後続する点など、典型的な派生接辞とは異なる特徴を持つものがある。例えば、「~を持った」の意味を表す接尾辞 *-LEEx* がその一つである。(1)と(2)を比べると、表面上は複数接辞と接尾辞 *-LEEx* の承接順が逆転していることになる。

⁴ *er* は *yer*, *xayda*-は *hayda*-が正しい綴りである。

- (1) *zie-leex-ter-ge* 「家の人々に」
家-PROP-PL-DAT
- (2) *zie-ler-deex* 「家々を持つ人々」
家-PL-PROP

Vinokrova(2005)は接尾辞 -LEEx を含む一群の非典型的派生接辞を統語的派生接辞 syntactic derivation と呼び普通の派生(語彙的派生 lexical derivation) と区別した。

(江畑 2011: 122)

2 節で考察したように、ウズベク語の *-siz* も語彙的派生とは異なる形態統語的ふるまいをしているため、江畑(2011: 122)で示された「統語的派生接辞」であるといえる。したがって、本稿では、*-siz* は語彙的派生接辞ではない、つまり単なる形容詞派生接辞ではないと結論付ける。

略号一覧

- 接辞境界 / = 接語境界 / 1, 2, 3 各 1, 2, 3 人称 / ABL (ablative) 奪格 / ACC (accusative) 対格 / CVB (converb) 副動詞 / DAT (dative) 与格 / GEN (genitive) 属格 / NAME (proper name) 固有名詞 / NEG (negative) / 否定 NPST (non-past) 非過去 / PAST (past) 過去 / PL (plural) 複数 / POSS (possessive) 所有 / PRIV (privative) ~なしの / PROP (propriative) ~持ちの / PRF (perfect) 完了 / Q (question marker) 疑問標識 / RECP (reciprocal) 相互 / SG (singular) 単数

参考文献

Bodrogligeti, András J. E. (2003) *An academic grammar of Modern Literary Uzbek* München: LINCOM EUROPA. / Boeschoten, Hendrik (1998) *Uzbek*. Johanson, Lars and Éva Á. Csató (eds.) *The Turkic languages*. 357-78. London, New York: Routledge. / 江畑冬生(2011)「サハ語(ヤクート語)の統語的派生と脱範疇化」『日本言語学会第142回大会予稿集』122-127. / Kononov, A. N. (1960) *Grammatika sovremennogo uzbekskogo jazyka*. Moskwa, Leningrad: Izdatel'stvo Akademii Nauk SSSR. / Vinokurova, Nadezhda (2005) *Lexical Categories and Argument Structure: A Study with Reference to Sakha*. Utrecht: LOT. (電子版 <http://igitur-archive.library.uu.nl/dissertations/2005-0325-013011/full.pdf> [2014年1月11日最終閲覧])